

# 編集 後記

●編集委員長を今号にて退任させて頂くことになりました。委員長初年度には東日本大震災、最終年度にはCOVID-19という社会的危機とともにすごすこととなり複雑な思いではあります。電力不足に陥った東日本大震災の時にはLEDライト普及が、また今回は進化していたけれど活用が遅れていたIT技術を用いた社会活動が加速しました。タイムリーな人類の叡智の素晴らしさに感動を覚えます。知恵と連帯で必ずこの難しい時代を乗り越えましょう！先生方とまた実際にお会いできることをとてとても楽しみにしております。長い間有難うございました。(河原由恵)

●昨年こちらに海越しの富士山の事を書きましたが、今年はなんと表紙を飾らせて頂きました。コロナ禍で外出自粛の続いた中でも、日々の犬の散歩コースに見られる素敵な風景に改めてありがたく思えます。ともあれ早い終息を待ち望みます。(天野隆文)

●新型コロナウイルス感染拡大で生活が一変しました。足早に帰宅し、巣籠生活をしていると、徐々に体重が増加したので、密を避けて散歩するようになりました。マスク姿で散歩やジョギングをしている方が多く、皆さんが踏ん張って、力を蓄えていることに気づかされました。(加藤正幸)

●ついこの間までオリンピックイヤーの高揚感に包まれていた日本や全世界がこれほどまでに一変するとは……。皮膚科学会やほとんどの学会が中止またはWEB開催となり、楽しみにしていた京都での「第九」のコンサートも延期になってしまいました。コロナ騒ぎが終息し平穏な日常が一日でも早く訪れるよう願っています。(小島雅彦)

●先の見えない毎日が続いていますが、我が家では生まれたばかりの長男を相手に悪戦苦闘しています。大変な思いをする日々の一方で、少しずつ成長する姿を見るとうれしくなってきました。今後子どもの成長とともに世間が落ち着いていくことを切に願います。(鈴木 琢)

●新しい日常。私はマスクとフェイスガードをつけて診療、患者さん用イスの足元の床にソーシャルディスタンス目印のテープを貼りました。ところで今更ですが爪切り等の処置では粉末が舞いますので今まで顔に被っていました！コロナが落ち着いても今後フェイスガードはつけようと思っています。(高橋さなみ)

●今回記事を書かせていただきました。皆さんの暇つぶしになれば幸いです。(根岸 晶)

●COVID-19とやらのお蔭で、3月以降の予定がすべて空白に。これで毎週末、介護施設から母を引き取ってゆっくり世話できると思いきや、それどころか面会すら禁止となってしまいました。さらに認知機能が落ちるのではないかと心配でたまりません。新型コロナ本当に憎し！(馬場直子)

●外出自粛ですっかり運動不足、「コロナ太り」してしまいました。取り返すために頑張りたいのですが、気持ちが自粛慣れしてなかなか動けません。(真鍋泰明)

●沈丁花、椿、紫陽花の花壇。桜、桃の盆栽。パンジー、チューリップ、ゼラニウム、ペゴニア、ペチュニア、日日草の植木鉢。色とりどりの花に心を慰められ、庭にもう一つの花壇を作りました。今、緑の小さなトマトの実が、枝に沿って一列に並んでいます。実が真っ赤になる前に、安全で幸福な日々が戻りますように。(山川有子)

●弊社のプライベートブランドのマスクがネットで転売されているのを発見したのが2月6日。職場から会合自粛令が公式に発動されたのが2月19日。誰もいない雪の積もった源氏山に桜を見に登ったのは3月29日。最後に映画館に行ったのは4月5日。ようやく、同じ映画が再公開されました。(渡邊 憲)

## 神 皮 〈第27号〉

2020年7月5日発行

発行 神奈川県皮膚科医会

発行人 鎌田英明

〒235-0016 横浜市磯子区磯子6-38-18

電話 045-753-0445

制作 かまくら春秋社

### ■表紙のことは

「逗子海岸より望む富士山」

昨年の編集後記にも書きましたが、犬を飼い始めてから海に散歩に行くことが多くなりました。元々自宅から徒歩7～8分といったところですが、子どもが大きくなってからはほとんど行く機会はありませんでした。冬の晴れた日の空気の澄んだ時、海岸から江の島越しに稜線まですっきり見える富士山が現れます。場所は「太陽の季節 ここに始まる」の記念碑近くです。(天野隆文)